

「令和5年度幸福について考えるワークショップ」の開催結果

1 開催目的

いわて県民計画（2019～2028）の推進に向け、県民に「幸福」について考える機会を提供するとともに、ワークショップを通じて県民の幸福感に関する意識を把握し、政策評価等に活用する。

2 対象とした分野別実感

- ① 子育て
- ② 地域の安全

3 ワークショップの開催状況等

(1) ワークショップの開催状況

	開催日	開催地域	参集者	
			人数	備考
第1回	6月8日	県南 (西和賀町)	8名 (男性5名、 女性3名)	町議会議員、自営業、集落支援員等
第2回	6月22日	県央 (葛巻町)	12名 (男性10名、 女性2名)	団体職員、自営業、地域おこし協力隊等
第3回	6月26日	県央 (盛岡市)	20名 (男性8名、 女性12名)	学生
第4回	6月28日	沿岸 (大槌町)	11名 (男性7名、 女性4名)	自営業、地域おこし協力隊、団体職員等
第5回	7月8日	県央 (矢巾町)	23名 (男性18名、 女性5名)	自営業、パートタイマー、自治会役員、自治体職員
第6回	7月10日	県央 (盛岡市)	20名 (男性13名、 女性7名)	自営業、会社員、学生、主婦等
第7回	9月1日	県北 (二戸市)	6名 (男性4名、 女性2名)	団体職員、自治体職員等
第8回	10月24日	県南 (花巻市)	6名 (男性3名、 女性3名)	団体職員、自営業等

(2) ワークショップにおいて出された意見等

① 子育て

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
<p>第1回 西和賀町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもから積極的に挨拶をする。(40代：女性) ・ 競争がなく、すくすく育っていると思う。(40代：男性) ・ 子どもも地域の大人の顔を知っているので、お互いに気にかけている。(50代：女性) ・ 環境さえ整えば、世界とつながることはできるようになった。(40代：男性) ・ 高校が存続するか不安である。(50代：男性) ・ 義家族との関係も大変だが、親同士の付き合いが無理、気疲れする。(30代：女性) ・ 教育面では常に不安を感じる。塾などもなく、北上や横手に通っている。(40代：男性) ・ 昔と違ってコミュニティの変化があるのではないか。世代間の関係性が難しい。(30代：女性) ・ 子どもを預ける施設がない。特に0才児保育。働いているので、2人目を諦めた。(30代：女性) ・ 教育環境の格差がある。中学・高校と進学するに従って、その差が大きいと思う。(40代：男性) ・ ある程度の人口規模がないと、行政サービスも民間事業もない。(30代：男性) ・ 家族で移住したが、学齢になり子育て(特に教育)環境の選択を迫られた。(30代：男性) ・ 職業もリーダー像も地域にロールモデルがない。(40代：男性) ・ 給付金より、就業しやすい環境、施策を整えてほしい。(40代：女性) ・ 西和賀ではないが、他市町村では公営塾をやっているところもある。(40代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子どもの居場所をつくる。(30代：女性) ・ ファミリーサポートセンターの整備を訴える。(40代：男性) ・ 移住までいかなくても、保育園留学等町として子育てしやすい施策を取り組む。(40代：男性) ・ 西和賀高校への県外からの生徒募集。(50代：男性) ・ 公民館等を活用したオンラインでの学習支援を誘致する。(40代：男性) ・ 県南地域(北上)への大学誘致。(40代：男性)
<p>第2回 葛巻町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代への町の施策(保育料無料、給食費無料、18歳までの医療費無料、高校の制服無料)が良い。(30代：男性) ・ 昔と比較して、出産祝い金など制度が整っていると思う。(60代：女性) ・ レジャーなど少ないなりに、クラフト市や祭りなど地域で頑張っている。(40代：女性) ・ 公営塾はあるが、選択肢は少ない。(30代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場も地域も育休に対する意識改革、啓発が必要。(30代：男性) ・ 子育てへの支援などは結構頑張っている。でも育った子供が地元に住みたくなくなるような取り組みが足りない。それは親(大人)

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者輸送バスなど通院配慮はされているが、産科がなく、小児科の診療日も決まっているので、夜間休日は心配。(20代：男性) ・ 自然には恵まれているが、小さな子どもが遊ぶ遊具や公園がない。(20代：男性) ・ 学校統合により、学校までの送迎が大変になってきている。(30代：男性) ・ 出生率をあげようというが、実際育休が取りにくい。意識啓発はもちろん必要だけど、何より職場のマンパワーが足りないので、制度活用に繋がっていない。自分も出産したとき、すぐに復帰した。(40代：女性) ・ 職場で男性が育休を取る事例が身近にない。(20代：男性) ・ 祝い金などは嬉しいが、賃金が低いのではないか。(30代：男性) 	<p>の心がけで変わると思う。親の幸せな姿を見せることが次の世代につながると思う。(60代：女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの団体の行事の連携、棚卸しをして子育てしやすい環境をつくる。(40代：男性) ・ AIを活用するなど、職場での子育て支援環境を整える。(40代：女性) ・ 職場での配置、マネジメントをしっかりと。(20代：男性)
第3回 盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園が増えた。(20代：女性) ・ 公園が多い。(自分の居住地)(20代：女性) ・ (出身地にはない) 地区対応運動会など、子供と一緒にイベントが地域にある。(20代：男性) ・ 朝に子供の見守りの人が交差点に立っている。(20代：女性) ・ 子育て支援のマークがあるお店がわかりやすい。(20代：女性) ・ SNSやコマーシャルで子育て支援情報が入ってくる。(例：生協のはじめてBOX)(20代：女性) ・ 学校の近くに児童センターがある。(20代：男性) ・ 幼稚園、保育園が住宅街に設置されている。逆を言えば、郊外では不利??(20代：女性) ・ 学生なので、実感がわからない。制度がわからない。(20代：男性) ・ 盛岡は、教育環境(塾やお稽古事等)の面では、県内では恵まれている。(20代：女性) ・ 幼稚園、保育園の園庭が狭い。(20代：男性) ・ 公園が少ない。(設置が偏っている?) (20代：女性) ・ 公園利用のマナーが悪い人がいるので子供が近寄れないケースがあるのではないか。(20代：女性) ・ 子育てに付随する様々な組織活動(例：PTA)の大変さが不安。(20代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『費用の無償化』も含め、有益な支援があれば、この地での生活を選ぶのではないか。(20代：男性) ・ バランスの良い医療体制(診療科)の充実。(20代：女性) ・ 教育の格差をなくす。教育を受ける機会の提供、選択できるコンテンツ増。(20代：女性) ・ ママ友同士の助け合い。(20代：女性) ・ 様々な情報が発信され、受け取れる環境がほしい。わかりやすい情報発信。(20代：男性) ・ 世代交流イベント。(20代：女性) ・ 育休など早く取得できる仕組み、理解する意識啓発をしっかりと

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びに行く施設または土日等の預かり施設が少ない。(20代：女性) ・ 子育て支援センターが町中にしかない。(20代：女性) ・ 地元には0歳時保育がない。共働き世代には厳しいと思う。(20代：女性) ・ 交通手段がバスしかなく、小さい子連れの場合は移動が大変そうだ。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やっていく。(20代：女性) ・ 大学も含めた学費支援制度。(20代：男性) ・ スクールガード等が立つ場所を見直ししてはどうか。(20代：女性)
<p>第4回 大槌町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放っていても子どもは育つ。(40代：男性) ・ 一時的ではあるが、出産祝い金の制度は嬉しい。(30代：女性) ・ 自然も含めて心豊かな育ちができる環境に恵まれている。(40代：男性) ・ 中高一貫教育で仲間と一緒に進学できる良い面、悪い面がある。(20代：女性) ・ 競争心に欠けているかもしれず、町外に出た時不安になる。(20代：男性) ・ 中心部には公園があるが、郊外では歩いていける距離に公園がない。(20代：女性) ・ 子育てする世代が住みたくなる条件が少ない。仕事、レジャー施設など選択が少ない。(30代：男性) ・ 塾もなく、お稽古事も選択が少ない。(10代：女性) ・ 友達と買い物したり、遊んだりする場がない。(10代：女性) ・ 救急、夜間診療体制が町内にはない。子育て世代の安心がほしい。(40代：男性) ・ 社会での女性の役割、働くことなど閉鎖的かもしれない。(30代：男性) ・ 映画など文化的なことに触れる機会が少ない。(20代：男性) ・ 塾とかなくても自発的に学びに興味を持つ環境があればいいと思う。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サブスクールの充実。(20代：男性) ・ 保育料免除など行政の制度の充実と周知を図る。(40代：男性) ・ 個々の家庭の経済状況に関わらず、いろいろ選択できる機会の提供。(40代：男性) ・ 友達と気軽に集まれる場所や行きやすい場所(買い物、塾など)。(10代：女性) ・ できる限り、子どもが望む環境を整えたい。(30代：男性) ・ 情報がどこにあるか、アンテナを高くしていく。(20代：女性) ・ 職場をはじめ地域のサポート体制づくりは必要だと思う。制度とか意識啓発。(30代：女性)
<p>第5回 矢巾町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の待機児童はいない。幼稚園や保育園は多いと思う。(40代：女性) ・ 町中に近いところは新住民も増え、子どもが多い。(60代：男性) ・ 医大移転、県立高校も有り教育環境は良いと思う。学習塾なども増えているが、経済的負担も増えている。(40代： 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業内保育事業の推進(20代：女性) ・ 子どもから高齢者まで参加し易い地域行事の実施。(70代：男性)

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<p>女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医大移転後の市街地整備が進んでおり、日常生活の不便はあまり感じない。(20代：女性) ・ 比較的世代交流事業（夏祭り、BBQ、廃品回収等）が盛んに行われている。(50代：男性) ・ 高校生まで医療費が無料だったり、環境には恵まれている。(30代：女性) ・ 病児保育があれば助かる。(30代：女性) ・ 企業（職場）の育児休暇に対する意識、環境がまだまだ整っていないと感じる。(30代：男性) ・ 盛岡が近いので、進学しても通いやすいと思う。(50代：男性) ・ 児童館が満員なので小学校中学年になると居場所の選択が少ない。(40代：女性) ・ 町の子育て制度のPRが少ない。知らないで損しているかもしれない。(40代：女性) ・ 子供会役員は比較的地域と関わるが、親同士の交流が少なく、関係が深まらない。(50代：男性) ・ 自然には囲まれているが、子どもが自由に遊べる公園が少ない。(30代：女性) ・ コロナ禍だったので、子ども同士の交流も、親同士の交流も殆どなかった。(40代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と役場の連携促進。(30代：女性) ・ 新たに引っ越してきた方に、こちらから声かけしていく。(60代：男性) ・ スクールガードに専門性のある方を依頼する。(70代：男性)
<p>第6回 盛岡市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生までの医療費補助は助かった。(50代：女性) ・ 歴史、街並みなど文化的要素に恵まれていると思う。(50代：男性) ・ 中心部はコンパクトなので、生活するには特に困らない。(30代：男性) ・ 塾に通わせてもらっているので感謝している。(10代：女性) ・ キャリア教育が浸透しているのか、中高生と職業について話す機会が増えている。(50代：女性) ・ 就職（仕事選択）、生き方など大人のロールモデルを見つけにくい。(10代：女性) ・ 学校、家以外の勉強する場所がほしい。席確保の競争率が高い。(10代：男性) ・ 困らないが、もっとおしゃれなお店などがあると嬉しい。(10代：女性) ・ 親の経済状況によっていろいろと経験できることに違いあると感じる。(10代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付型奨学金が増えてほしい。やはり就職時に借金となるのは不安である。(10代：男性) ・ 文化的なイベントが岩手でもあれば嬉しい。(10代：女性) ・ お仕事体験をはじめ、さまざまな体験ができる機会を提供する。(30代：男性) ・ 学校を越えて高校生が集まって何かを企てる機会、場所がほしい。(10代：女性) ・ 地域の中で大人と交流できるイベントを企画、実施していく。(50代：女性)

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外に進学する場合、親の負担を考えてしまう。(10代：女性) ・ 刺激を得る機会が少ない。(20代：女性) ・ 若者支援といっても、実際当事者の意見を聞く機会が少ないと実感した。(30代：男性) ・ 共働きが増えているが、やはり母親への負担はなかなか減らない。(40代：女性) ・ 指定教科書を購入できる店を増やしてほしい。(10代：男性) ・ 通学時間帯のバスの本数が減った。(10代：女性) ・ 地域の行事を知るきっかけがない。 	<p>男性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと、当事者である若者と話す機会を持ちたい。(20代：女性) ・ 面白い情報も、役立つ情報の発信力を強めていくことが必要だと思う。(50代：女性)
第7回 二戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て環境としては特に困っていない。(40代：女性) ・ 子ども医療費制度、医療機関は整備されているので安心。(30代：女性) ・ 使い勝手は少し難ありだが、病児保育もされている。(40代：女性) ・ 給付金も充実している方だと思うし、祖父母同居の世帯は面倒を見てもらえる。(30代：女性) ・ 地元の方と協力して伝統芸能の保存活動を学校でも行っている。体験を通じて、担い手に繋がっていると思う。(40代：男性) ・ 子育て世代の居場所、子供連れで利用できる場所が少ない。(40代：男性) ・ 制度など意外とあるのに利用されていない。例えばファミサポなど。(40代：女性) ・ 子育てに必要な情報が届きにくい。情報格差を感じる。(40代：男性) ・ 学校の特色があると、移住したくなるのではないか。(20代：男性) ・ 八戸や盛岡に出かけて遊ぶが、近場でもそんな場所があれば、保護者同士が繋がる。(40代：女性) ・ 学習塾、お稽古ごとなどの選択肢が少ない。(40代：男性) ・ 地元進学が少なくなり、クラブ活動もままならない。特にチームスポーツは実施困難。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用できる制度、情報をもっと広報、周知していく。(20代：男性) ・ 働き方の変化、フレックスタイムなどの拡充とそのため意識啓発を図る。(40代：男性) ・ 二戸駅東口のにぎやか創出と空き店舗の利活用促進。(40代：男性) ・ 制度などは結構充実しているので、子育て世代の声を反映できる仕組みづくりを進める。(30代：女性) ・ 病児保育を利用しやすく、手続きを簡略化する。(30代：女性) ・ 学校の特色を出していくため、地域も積極的に学校に関わっていく。(40代：男性) ・ 子どもが安心して遊べる目届きやすい公園を作る。(40代：男性)

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
第8回 花巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの減少、学校の統廃合などで地域全体の子育て環境の変化はマイナスイメージしかない。(40代：男性) ・ 自分が子どものときと違って子どもが減っている。学校生活の変化はあるかも…。(30代：女性) ・ 片親世帯である。経済的なことはもちろんだが、子どもの病気等で休むのが難しい。(40代：女性) ・ 学童の利用がしにくい。ルールはわかるが、数分遅れても嫌な顔をされるとへこむ。(40代：女性) ・ 子育て制度はあるが、現実にあっていない気がする。(40代：女性) ・ 学校の統廃合などで通学バス利用が増え、子供同士が放課後遊ぶ機会が減っている。(50代：男性) ・ 学校と地域の関わりが薄いとを感じる。伝統芸能の保存など担い手不足である。(30代：女性) ・ 学習塾は町内に2つあるが、選択肢が少なく、花巻方面に行く子どもも結構いる。(50代：女性) ・ 奨学金の仕組みを知らない。給付型奨学金の仕組みがあると嬉しい。(50代：男性) ・ 子育てに必要な情報は積極的にとりにいかないと不利益になってしまう。(50代：男性) ・ 仕事柄、子育て世代の方の顧客が多く、「同年代の繋がりが薄い」「共働きだが、自分に家事負担が多く大変」などの話をよく聞く。(50代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後に集まれる第3の居場所みたいなものをつくる。(50代：男性) ・ 総合学習などに取り上げてもらうよう伝統芸能について学校に働きかける。(30代：女性) ・ 空き店舗や閉鎖した幼稚園の利活用について検討していく。(30代：男性) ・ 子育て世代の声を反映できる仕組みづくりが大事。以前、ワークショップはしたが、その後がなかったので、意見反映を促していく。(40代：女性) ・ 地域に開かれた学校にしていくため、自分たちからの積極的に学校に関わる。(50代：女性) ・ 中高生が地域に関わる機会をつくっていく。(30代：男性) ・ 子ども（特に中学生）が、元気に安心して遊べる目が届きやすい公園を作る。(40代：男性)

② 地域の安全

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
第1回 西和賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪等は少なく、その方面では安全だと思う。外出時の無施錠には、移住してきた時に驚いた。(30代：男性) ・ 大きな自然災害はないが、山間の地域なので土砂災害は心配。(40代：男性) ・ 元々の住民にとって、雪害という意識がない。雪由来の交通事故や雪下ろし作業等にもなう事故があるが、それは『雪が原因』という意識が低いと思われる。(40代：男性) ・ 地域での高齢者の見守りはできていると思うが、反面、お互いを知りすぎている窮屈さ、監視・抑止社会のように感じるときもある。(30代：女性) ・ 子どもが少なく、地域の皆が子どもに声かけるなどやさしいと思う。(40代：女性) ・ 昔と違い、飲酒トラブルや飲酒運転が減ったと感じる。(50代：男性) ・ 消防団活動に参加する人が減っている。高齢化も理由だが、組織の特性(上下関係等)が、若者の参加を阻害していると思う。横の繋がりが難しい。(40代：男性) ・ 高齢者独居の増加、世帯減少によるご近所付き合いができなくなっている場合もある。(50代：女性) ・ 人口減が進み、生活インフラ(通院、救急搬送、買い物等)の整備、支援の仕組みなどがなくなっている。(40代：男性) ・ 獣害の話はあまり聞かない。(50代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節毎に住み替えする施策も必要。(40代：男性) ・ 地域運営組織、小規模多機能自治の実践に向けて検討していく。(30代：男性) ・ 様々な補助事業をうまく活用していくための事務支援がほしい。(40代：女性) ・ 雪国。除雪できる人を増やす。大雪は災害という意識啓発。(40代：男性) ・ 同年代を消防団に入るように誘う。(30代：男性)
第2回 葛巻町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盆地で山に囲まれてはいるが、自然災害が少ない地域である。(70代：男性) ・ 大きな犯罪などもなく、日々の生活には安心できている。(60代：女性) ・ 冬季の融雪溝見回り出動はあるが、消防団の出動回数は少ない。(40代：男性) ・ 地域内での顔が見える繋がりがあがる。(60代：女性) ・ バイパスはできたが、町中の旧道がメインである。道路が狭く、歩道もないことから、手押しカートの高齢者や通学などは心配だ。(30代：男性) ・ スクールガードは町からの依頼で実施している。(70代：男性) ・ 人口減、高齢化などにより、地域の様々なメンテナンスを担う人が減っているのはないか。(50代：男性) ・ 除雪よりも、道路凍結が困る。(40代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町中の歩道整備が必要。(50代：男性) ・ 生活環境の整備や補完など移住・定住への支援策。(30代：男性) ・ 若い世代との連携、繋がりを持てる取り組みがほしい。(40代：女性) ・ 通学の送迎をしているが、やはり外灯は設置してほしい。(30代：男性) ・ 交流できる機会は大事。もう少し飲食店が

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心部以外は、外灯も少なく、道路が暗い。(50代：男性) ・ 昨今、熊の出没が怖い。(20代：男性) ・ 人口減少や共働きなどご近所付き合いができなくなっている場合もある。(40代：女性) ・ 病院はあるが、診療科が少なく、緊急時は不安である。(60代：女性) ・ 老後が心配。(30代：男性) ・ 認知症高齢者の徘徊を時々見かける。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅くまでやってくれたら…。(40代：男性) ・ 若い世代が積極的に自治会へ参加する。(70代：男性)
第3回 盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の自転車専用レーンはよい。(20代：男性) ・ 子どもたち(中学生まで)のヘルメット着用率が高い。(20代：女性) ・ 内陸は自然災害が少ないと思う。危険な箇所も少ない。(20代：男性) ・ 地域内での顔が見える繋がりがある。声をかけてくれる。(20代：女性) ・ 町内会など地域コミュニティがちゃんとある。(20代：女性) ・ 大学周辺には外灯があるし、人通りもあるので安全だと思う。(20代：男性) ・ 郊外は、道路が狭く、街灯が少ない。(20代：男性) ・ 運転者も歩行者も信号無視が多い。意外と地方は運転が荒いと思う。(20代：男性) ・ ハザードマップ等の情報がわからない。(20代：男性) ・ 川に囲まれた地域なので、川の氾濫が不安である。(20代：男性) ・ 鹿や熊、最近は獣害情報が多く、どう対応すればよいか。(20代：女性) ・ 道路がデコボコしていて、通学しにくい。(自転車、バイク)(20代：男性) ・ 横断歩道が少ない気がする。(20代：女性) ・ 町中の除雪はあまりうまくない。(20代：女性) ・ 自転車の無灯火が多い。ルールの徹底を。(20代：男性) ・ 災害時の備え、助け合いができるのか？地域の仕組みがどうなっているのか？(20代：女性) ・ 一方通行や路地など道路のつくりはよくない。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内の購買で、災害対策グッズを販売してほしい。(20代：男性) ・ 防災教育が必要だと思う。(20代：女性) ・ クロスバイクへのライトは常備品にしてほしい。(20代：男性) ・ 道路の整備をすすめてほしい。(20代：女性) ・ 通学・通勤時間帯の交通安全対策を考える。スピード違反取締など。(20代：女性) ・ 学生も地域のイベントへ積極的に参加する。(20代：女性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> 町医者（医院）が少なく、いつも混んでいる。（20代：女性） 	
第4回 大槌町	<ul style="list-style-type: none"> 街灯が少ない。（30代：女性） 自転車道路がないので通学路の危険が増していると思う。（40代：男性） 学校への距離はもちろん、交通事情等による児童・生徒は親御さんの送迎が多い。（40代：男性） 放置林が増え、鹿・熊の目撃情報が増えている。（30代：男性） 気候変動による集中豪雨など今後は土砂災害にも気をつけていく必要がある。（30代：男性） 施錠なしで外出できる。移住した時にびっくりした。（20代：男性） 夜歩いている人が少なく、夜道の一人歩きで人に対する危険は感じない。（都会と違う人への不安などが無いという意味で）（20代：女性） 熊以外の悪いニュースはない。不審者もいない。（20代：女性） 親に送迎してもらっているので帰りが遅くなったときは安心できる。（10代：女性） 高齢者も見守りネットワークなど仕組みがちゃんと動いていると思う。（30代：男性） 日常生活では特に不満がない。（20代：女性） 犯罪、大きな事件がなくて安心できる。（20代：男性） 	<ul style="list-style-type: none"> 世代を越えた対話の場づくりが大事だと改めて思った。（40代：男性） スクールガードなど地域で取り組んでいることを継続していく。（30代：女性） ジビエ事業をより拡大していく。経済活動になれば、取り組みも増えていく。（40代：男性） 大きな事件も事故もない町。これを維持できるようにしたい。（30代：男性） この場で出た意見など今後の自分の子育てに生かしたい。（40代：男性）
第5回 矢巾町	<ul style="list-style-type: none"> 比較的的自然災害が少なく安心して生活している。（70代：男性） 河川の拡幅工事が完了した。（60代：男性） 小学校では3年生を対象として自転車教習を行っている。（30代：女性） 自治会内で防災訓練を実施している。（70代：男性） 通学時、スピード超過の運転者が多く、交通事故発生が懸念される。（50代：男性） 特に奥羽山脈沿いの道路は、冬の凍結が多く危ないし、除雪が追いつかない時がある。（30代：男性） 空き家も増え、ゴミ屋敷化など不安要素が増えている。（40代：女性） 熊はもちろん、イノシシやタヌキなど獣害対策ができて 	<ul style="list-style-type: none"> スクールガードと交通指導員の連携がもっと必要である。（現在もあるが）（70代：男性） 自転車の乗り方を学ぶ機会をつくっていく。（40代：女性） 故障がないように防犯灯の定期点検をする。（60代：男性） 道路の表示をクリアに線の引き直しをする。（50代：男性）

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<p>いないと思う。(50代：男性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練への参加者が少なく、固定化している。(70代：男性) ・ (災害が少ないためか) 防災意識が低いと感じる。(60代：男性) ・ スマートインターができて、交通量が増加するとともにゴミのポイ捨ても増えた。(60代：男性) ・ JA ガソリンスタンドより西側が暗い。外灯がない。(60代：男性) ・ 交通量が増え、歩道の整備が求められる。(70代：男性) ・ スクールガードをしているが、次のなり手がいない。(70代：男性) ・ 広範囲な地域なので、学校まで徒歩、自転車通学が大変。また保護者の送迎も多く、通学時間の混雑の要因の一つだと思う。(30代：女性) ・ 不審者案件もある。道路等の監視カメラの設置が必要だ。(60代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーン 30 プラスの導入に向けた働きかけをする。(60代：男性) ・ 運転者に注意喚起する取組を考えていく。(30代：男性)
<p>第6回 盛岡市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪かきなど地域で取り組む仕組みがある。(50代：女性) ・ 集団登校があって安心できる。(40代：女性) ・ 避難場所がどこなのかわかっている。(10代：男性) ・ 近くに病院もあるし、買い物も困らない、生活しやすいと思う。(20代：女性) ・ 自転車専用道路があるルートは安心できる。(10代：男性) ・ 幸い空き家が殆どない。(30代：男性) ・ 部活や塾帰りが遅くなっても、外灯があるので安心する。(10代：女性) ・ 道路、歩道の除雪がされていない。(遅い)。(10代：男性) ・ 住宅街でもスピードを出す車が多く、小さい子供連れや高齢者は危ない。(40代：女性) ・ 住んでいる場所柄、北上川の氾濫が不安である。特に最近豪雨災害が多いので。(50代：女性) ・ 街中でも熊の出没が増えている。(10代：女性) ・ 学校周辺での不審者案件があるので、親に送迎してもらっている。(10代：女性) ・ 地域によっては、外灯が偏在している。(50代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季間、雪道の送迎は必要だと思う。(10代：男性) ・ 学校で自転車教習などあれば良いのではないか。(10代：女性) ・ 地域の活動に中高生も関わる仕掛けをしていきたい。(30代：男性) ・ 防犯に対する意識啓発、学ぶ機会を提供する。(20代：女性) ・ 地域の避難訓練に参加してみる。(10代：男性) ・ 危ない箇所に看板を立てるなど、お知らせする。(10代：女性) ・ 子どもと一緒に地域活動に参加することで、地域のつながりをつくる。(40代：女性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> 除雪後の雪が道路に出される。排雪作業が追いつかない。(50代：男性) 自転車運転者のマナーが悪くなっている。ながら運転、スピードなど。(50代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代で地域のことを話し合う機会をつくっていく。(50代：女性)
第7回 二戸市	<ul style="list-style-type: none"> 二戸駅前の通学路が狭く、スクールガードのいない下校時は不安。(30代：女性) 以前事故があった大村道路が拡幅となり、歩きやすくなった反面、スピードを落とさない車の通行が増えて危険が増していると思う。(40代：男性) 一部、外灯がなく、暗い。(40代：男性) 二戸駅前東口の交差点が急な坂道で、歩行者も自転車利用者も危ない。(30代：女性) 二戸駅西口には景勝地があるが、最近はやはり熊などの獣害情報も多く不安になる。(20代：男性) コロナ等で交流が減り、近所付き合いもしなくなり安否確認が必要だとは思いますが、きっかけがない。(40代：女性) 高齢者は子どもの顔（もしくは〇〇家の子どもという認識）を知っているが、子どもが近所の高齢者の顔を知らないの、挨拶ができないことも増えている。(40代：男性) 大きな犯罪も自然災害も少なく、平和を感じる。(40代：男性) 登校時に横断歩道等に立つが、子どもは元気に挨拶している。(30代：女性) 日常生活では特に不満がない。(20代：女性) 犯罪、大きな事件がなくて安心できる。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> 世代を越えた交流機会、居場所が本当に大切だと思う。(40代：男性) PTA以外でも地域と関わる努力をしていく。(30代：女性) 人口減の中、地域コーディネーターの役割を担う人が必要と感じる。それは、地元の人だけではどうにもならないが…。(40代：男性) 伝統行事やお祭りなど絶やさないためには、協力体制を構築し直す必要がある。地域に関わる人が増えるとお互いの安心感に繋がると思う。(20代：男性) お互い様の気持ちをもって生活していく。(40代：女性)
第8回 花巻市	<ul style="list-style-type: none"> 通学のほとんどがスクールバス利用であるが、小学校周辺の徒歩通学時の交通量が多く、大型トラック等も通るので危険だと思う。(40代：女性) 以前は通学時に道路閉鎖する区間があったが、今は解除された。(50代：男性) 小学校周辺での通学時の見守り活動は結構手厚く対応している。(40代：女性) 町中以外は、外灯がなく、暗い。(30代：女性) 運動公園付近の道路が陥没していて危ない。市役所には報告しているがそのままである。(30代：女性) 現在は、熊出没など獣害が一番気になる。(30代：男 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化、免許返納などに対応する仕組みが求められる。(50代：男性) 地域交通のあり方を早めに、真剣に考えていく必要がある。(30代：男性) お互いに、気に掛け合うような雰囲気作りをしていきたい。(40代：女性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<p>性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害がほぼないので災害に対する意識は低い。ただ、田瀬ダム決壊などは不安になる。(50代：女性) ・ 最近の気候変動など大雨被害のおそれはある。(50代：女性) ・ 地元以外の方が歩いていると、注視してしまう。(50代：女性) ・ 消防団員の確保は難しい。地元勤務だと助かるが、町外で働く人が多い。(50代：男性) ・ 団員確保のため、自分は参加している。女性団員は珍しい。(30代：女性) ・ 地域の見守りは民生委員会を中心にしているが、近所の人同士でもお互いに訪ねたりして取り組んでいる。(50代：男性) ・ 鍵をかけ忘れても安心な部分がある。(40代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっかく同居しているのだから、親世代だけでなく若者が地域活動に参加する。(30代：女性) ・ あいさつを率先して行う。(40代：女性)